

## 第2回「SORAのきずな2016勉強会」開催報告

日時●2016年9月21日（水）18：30～20：30 場所●福島学院大学 駅前キャンパス 参加人数●51名



9月21日（水）に、後援各社皆様、ご協力いただいたすべての皆様のご支援とご協力のおかげさまをもちまして、第2回「SORAのきずな2016勉強会」を無事に開催終了させていただきました。

今回は、「ペ弁が読み解く動物問題」として、ペ弁（ペットの弁護士）としてご活躍されている、兵庫県弁護士会の細川敦史氏をお迎えしての開催となりました。

細川氏よりSORAで保護した犬の事例なども交え、動物愛護管理法の内容をお話いただきました。動物の関する法律の存在を知らなかった参加者が16%、少しだけ知っているという参加者が48%という中でしたが、わかりやすい細川氏のお話に参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。東日本大震災時の事例や、同行避難についてのお話もありました。後半では、事前に参加者から募った動物問題に関する質問をQ&A形式でご回答いただきました。身近な事例としていつ自分の周りで起こってしまうかわからない動物問題について今後役立つきっかけとなったのではないのでしょうか。

第2部では第1回勉強会に引き続き、「ふくしま地域猫活動」として、当団体代表理事の二階堂利枝より、地域猫活動についてお話をさせていただきました。実際に使う捕獲器のしくみや、捕獲につかう洗濯ネットやふとん袋の使い方など、実際に地域猫活動をするにあたる基本のお話をしました。また、猫のワクチンの重要性についてもお話がありました。



第1回勉強会から継続して参加されている方も多く、その場で募った第3回勉強会の申し込みについても40名余りが継続して参加いただけることとなり、興味の深さを感じました。（10月11日現在）参加される皆様の環境や境遇はさまざまですが、「動物と人の共生」を目指す気持ちをひとつに、どんなことがあっても動物を守る福島県の担い手としてこれからも勉強会を続けたいと思います。

当日のアンケートにつきまして、次ページ以降にまとめましたので、ご確認のほどよろしくおねがいいたします。

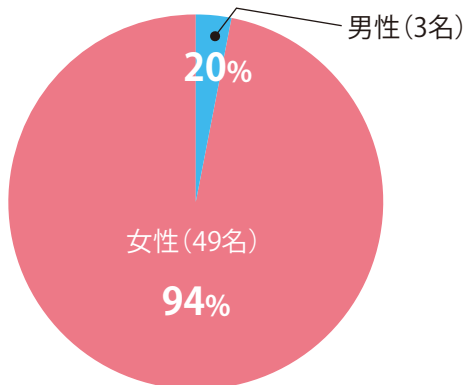
次回勉強会は10月26日（水）開催となります。今後とも変わらぬご支援いただけますようお願い申し上げます。

**特定非営利活動法人 SORA アニマルシェルター**  
 代表理事 二階堂 利枝  
 〒960-2261 福島市町庭坂字富山 147-1  
 E-mail : soranokizuna2016@gmail.com  
 URL : http://soranokizuna.com

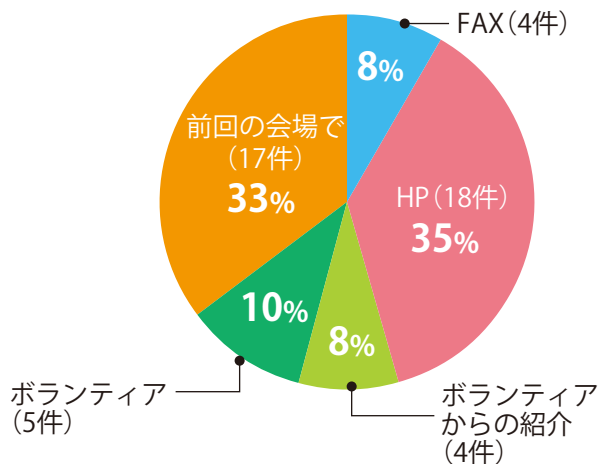
# 応募状況について

## 応募総数 52名

### 男女構成



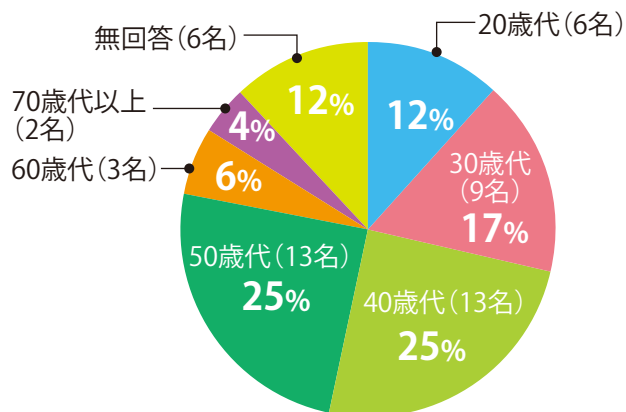
### 応募方法



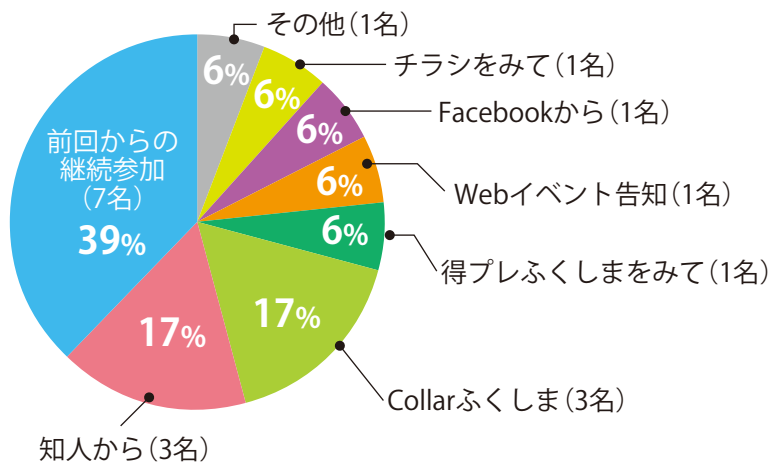
### 居住地



### 年代



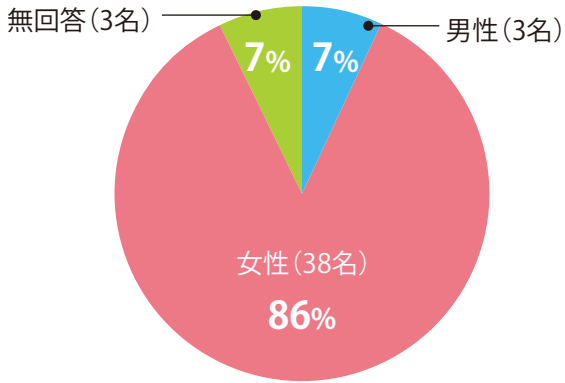
### Webから申し込みのうち、何で知って応募しましたか



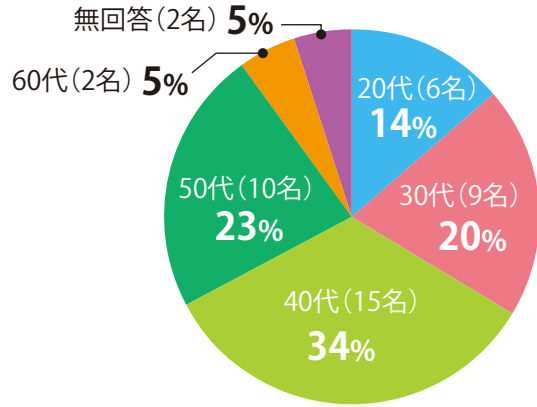
当日アンケートから

参加者合計 51名 (内 有効回答数44)

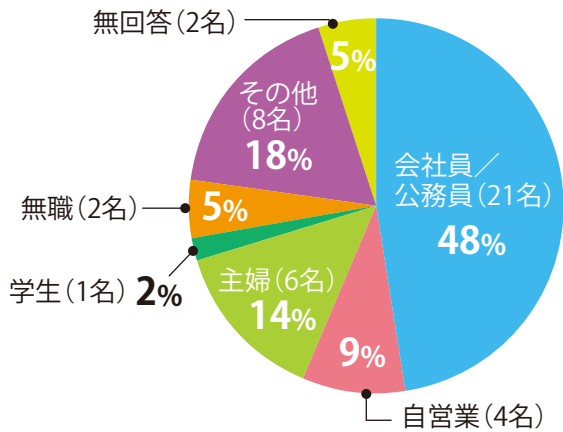
男女構成



年齢

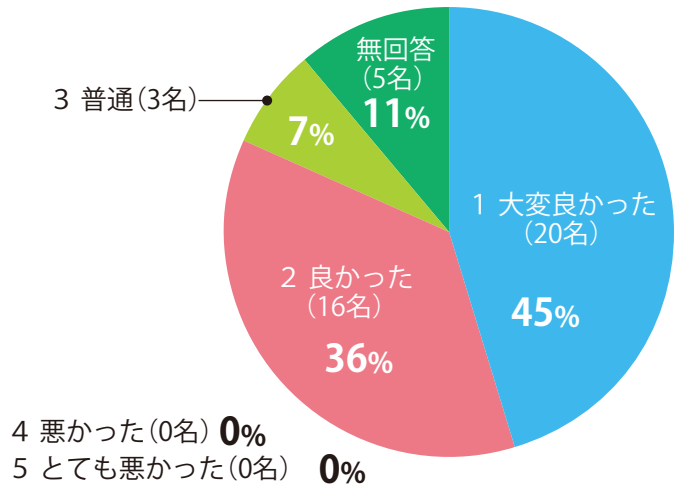


職業



その他：保育士、派遣社員、販売員、契約社員、接客業、フリーター

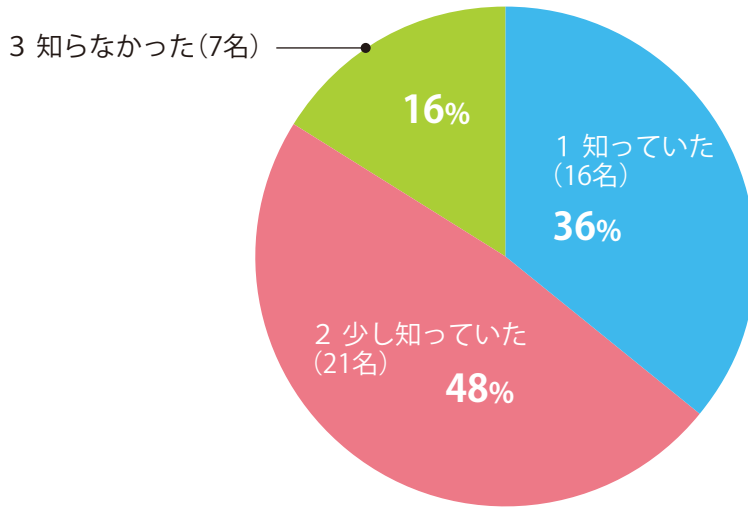
この勉強会に対する評価を教えてください



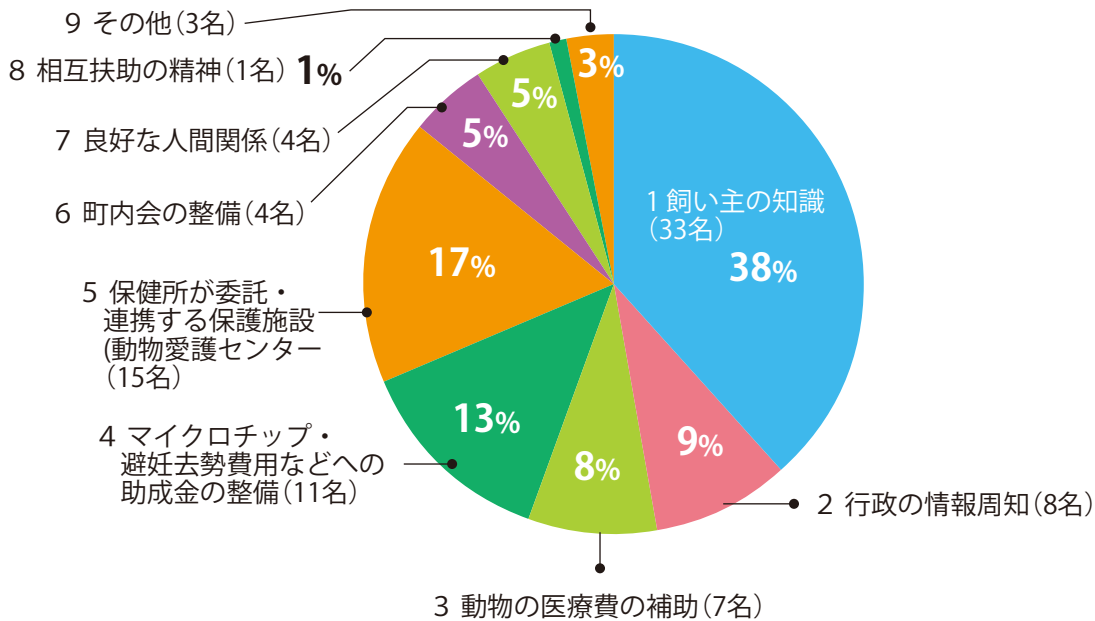
## 当日アンケートから

### 本勉強会を受けた感想

#### ①動物の飼い方や扱いに関する法律を知っていましたか



#### ②動物の問題の減少のためには何が重要だと思いますか（2つまで選択可）



( )は設問番号

- ペットショップで生き物を売らないこと。国によっては禁止されていると聞いたことがあります
- 動物のプロ（獣医、トリマー、トレーナー、保護団体等）の意識
- 業者への指導

## 当日アンケートから

### ③動物に関わる動物問題について他に何かあればご記入ください

- 迷い犬、猫が交通事故にあったらどうすればいい？命がある場合、役場？警察？保健所？動物病院？
- ペットショップの売れ残り動物の実情の周知と救済方法。殺処分停止に向けた啓発
- 庭に残飯を置いて野猫や捨猫を増し知らん顔をしている人は罪にならないのですか
- 大変ためになるお話ありがとうございました。お話の中で気になる点がありましたので質問させていただきます。「SORAの相談事例」より、飼養されている動物は原則として遺棄とありますが、この「飼養」の定義はどういったものでしょうか？登録しているからか？飼養の実態があれば「飼養」ということになるのでしょうか？
- 何でもかんでも「行政」にやってもらえて当然(税金を払っているから)かわいい動物のために第一に(犯罪などよりも優先して)警察は働け、のように受け取られるような偏った言い方をする(本当にそう思っている人もいる?)人がいると、まじめに周りの人とうまくやっていきたい人が世間に誤解されてしまうかも。人と人との関わりがうまくいかなくて問題が大きくなってしまうこともあるのでは？
- ペットショップ生体販売をやめ、岡山県にあるペットショップCHOUCHOUのような、生体販売をせず保護猫を譲渡していく体制にしていけるとよいと思います
- そもそもペットショップで動物の販売をすることが間違っているのでは、動物販売をなくすことを進めていく。一人二人じゃなく多人数で進めたいと考えてる
- 質問ではなく感想なのですが、私が想像する以上のことが動物問題としてあり、どこまで人と近い存在として評価していくのが難しいのかなと考えさせるきっかけになりました
- パピーミル、引き取り業者への問題にも向き合う必要があると痛感しています。
- ペットショップでの生体販売への風向
- 犬にはあるのに猫にはないワクチン接種の義務の問題

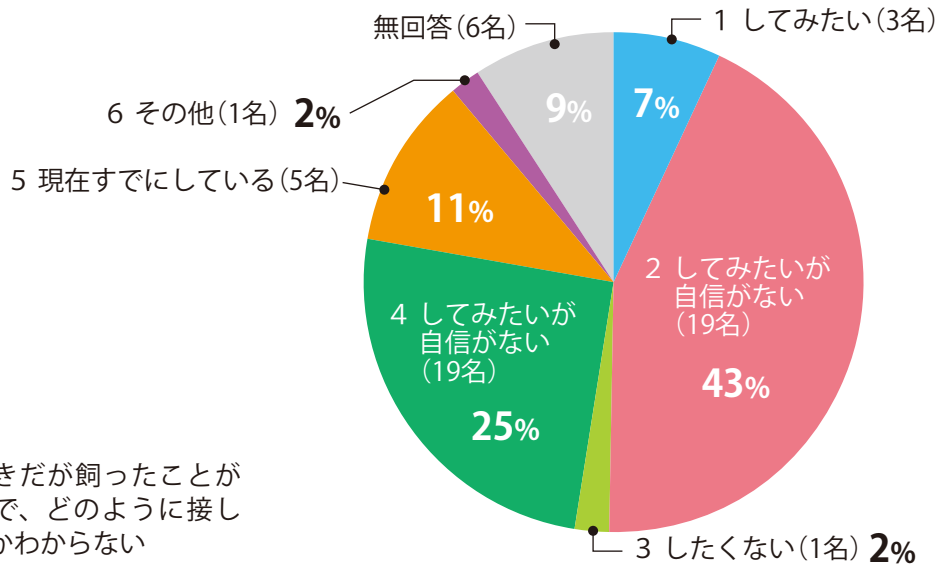
### 参考：質問内容

- 震災の時に動物を置き去りにすることの法律からの見方は？災害時と一般の時の法律の違いは？
- 保護した犬を育て、新しい里親を見つけたのに、本当の飼い主がきて犬を返してくれと言った。どうすればいい？時効はあるの？
- 家にくる猫に餌をやっていたら、野良猫ではなく誰かの飼い猫だった。あげていた餌のせいで病気になったとあって、飼い主が苦情を申し立ててきた。
- ペットショップで買った犬が持病持ちだった。ペットショップに返す事はできるの？
- 自転車でボクサー犬を散歩中、角を曲がったところで老人に遭遇。接触はしないものの、驚いて転んで大腿骨骨折をしてしまった。医療費負担などの責任はあるのか。
- 長期不在の家に犬がいて、ごくたまに飼い主が戻ってきているが主にボランティアがその犬に餌をあげたり世話をしている。その犬の所有権を放棄する方法はあるのか。
- 飼い猫が逃げて、保健所に届け出しているのに、保健所の確認ミスで殺処分されたら？
- 飼い猫が逃げて車にひかれてしまった。マイクロチップが入っているのに、負傷動物の死体処理として、マイクロチップが確認されないまま処理されていたら？
- 家にくる隣の家の猫の糞を、スコップですくってそのまま飼い主の家の前においてやった。どちらが悪いのか。
- ペットに遺産は残せるのか
- 自分の家の物置に野良猫が勝手に子猫を生んだので、捨てた。これは遺棄になるのか。
- 犬が散歩中に住宅の塀におしっこをさせてしまうことは、器物破壊等になるのか
- 飼い主が猫を自由にしている、避妊もせずどんどん子猫が生まれてしまい、家の外にも猫がたくさんいる。道路に飛び出してきて危なかったり、庭の糞尿被害がひどいなどの近所からの苦情もある。その家の猫に対して避妊手術を強制したり、ボランティア団体が手術をすることはできるか。
- 犬が人に噛み付いて怪我をさせた場合、犬はすべて保健所に連れて行かれてしまうのか。飼い犬と野良犬の違いは？
- 自動車で犬(猫)をひいてしまった。飼い主に対しての損害賠償額は？大きさや血統書の有無で違いがあるの？
- 隣の猫が家に遊びに来て、飼い猫に病気をうつしてしまった



## 当日アンケートから

### ④「地域猫活動」をしてみたいですか？

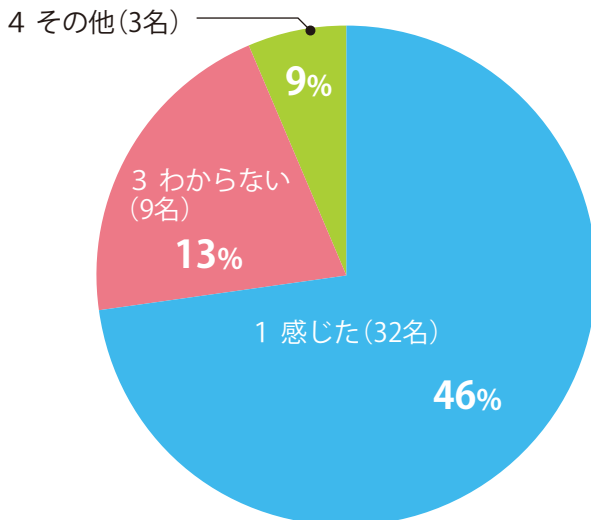


- 猫は好きだが飼ったことがないので、どのように接していいかわからない

### ⑤「地域猫活動」が必要だと思う具体的な地域があればその場所と状況を教えてください

- 市内ではなく田舎の方。外猫(避妊未済)が多く野放し
- あづま総合運動公園 いたるところで見られますが、最近子猫の数が増えています。食事などをあげている方がいられるようです
- 蓬萊地区 野良猫が多い
- 本内(市営住宅) 猫たくさんいます
- あづま総合運動公園 何人かの人が避妊去勢手術をしてきているが、捨てる人が後を絶たないとききます
- 福島駅に野良猫がいた 保護されていればよいが、気になっている
- 飯館
- 市内鎌田 野良が家に8匹いて周囲の洗濯物にマーキングをしている

### ⑥この「SORAのきずな」の活動が福島の復興につながると感じましたか

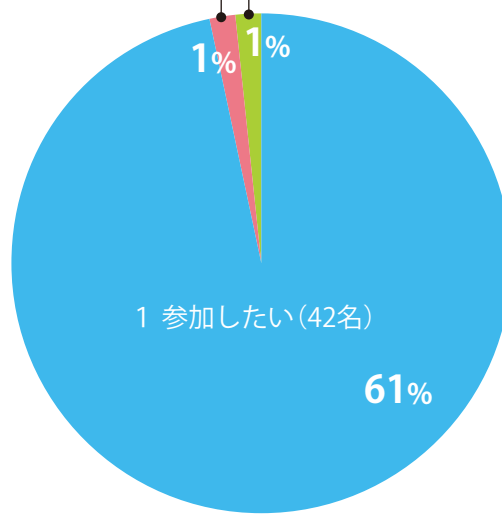


- 復興とは別の意味と感じました
- 福島の復興につながるかはわからないが、市民の意識を高めることにはつながると思う
- NPOの活動に少々かかわっているので、申請が通って補助金をもらうのが大変だということはわかります。他県出身なので、どうも福島は「大変なことは嫁が全部やるもの」「ボランティアはただで働くものだから使えるだけ使って当然」のような雰囲気を感じます。何か活動するのに正当な報酬はあるべきと思います。「復興」がもとの状態にもどすことではなく、よりよいものにしていくことを望みます。

## 当日アンケートから

### ● 今後も継続して「SORAのきずな勉強会」に参加したいと思いますか

3 わからない(1名) 無回答(1名)



### ● その他、お気づきの点があれば記載をお願いします

- 5回目以降も定期的におねがいします！
- 地域猫活動で実際どのように活動されているのかというのを聞きたい。聞いてみたいと思いました。またその活動の何かお手伝いできればそういう面から関わりたいと思いました。
- 勉強会の途中で主催者サイドの方が私見を述べるのは基本的にNGですね。勉強会の参加者が主ですから。言いたいことはわかるのですが、老婆心ながら。
- もう少し地域猫を知らない人のために説明してほしい。でも、二階堂さんの思いがとても強くて、動物たちへの思いが伝わってきて充実した2時間になった
- 質疑中のSORA代表さんの発言を聞いて思ったのは、「動物を飼う人間は善の人でなければならない」というふうに言っているのかなということです。でも世の中動物に対する愛情たっぷりの人ばかりではなく、なんとなくかわいから飼ってしまうという人もいます。どんなしょうもない人間が飼っても動物が幸せでいられる世の中のシステムを考えるべきで、個人の精神問題でとらえられるとちょっと…という感じです。
- 座席ですが、来た人から奥から詰めて着席していただいた方がいいかと。入って手前が埋まってしまっていて、少し座りにくかったです。とても勉強になりました。このような勉強会色々なパターンでもっともっとやっていただきたいです。代表さんの地域猫活動のお話し、もっともっと聞きたかったです。
- どうして東京の獣医さんなんですか？福島の獣医さんは賛同してくれないのですか？
- 今回は法関係は少し難しく感じましたが、どれも身近な話なので参考にしたいと思います。次回も参加して少しずつ知識を貯めていき、行動にうつしたいと思います。
- 現在3匹の元保護犬を飼育しております。譲渡の際のハードルはびっくりするほど高かったですが、動物に2度悲しい思いはさせられないから…とのスタッフさんの言葉に納得でした。「防災のススメ」のパンフにあるように、避難場所の確認、迷子札の着用はとても強く言われたことが…
- 外に出して飼っている猫が数多くいる中で、難しいこともあると感じます。まずは身近なことから出来ることあればと思います。
- 「地域猫活動」という言葉を初めてききました。帰っているいろいろ調べてみようと思います。自分の子ども時代とは全然ちがう世界(法律)などになっていたとは驚きました。とても考えが変わりました。人間と仲良くすごせるようになるのを一生懸命考えたいと思います。
- ダックスが遺棄されていた話がとても悲しく思いました。私も同じくダックスを飼っているの、涙が出そうでした。動物は悪くないし話せないのだから人が気付きもっとよいかたちでできなかったものかと同じ人として悔しいです。
- 第1部時間が足りなかったように思います。質問の時間もとることができたらよかったです。第2部地域猫活動について、もう少し詳しい話を聞くことができたらよかったです。県の動物愛護管理推進計画参考になります。勉強してみます。ありがとうございました！